

図2 母の年齢（5歳階級）別にみた合計特殊出生率（内訳）の年次推移

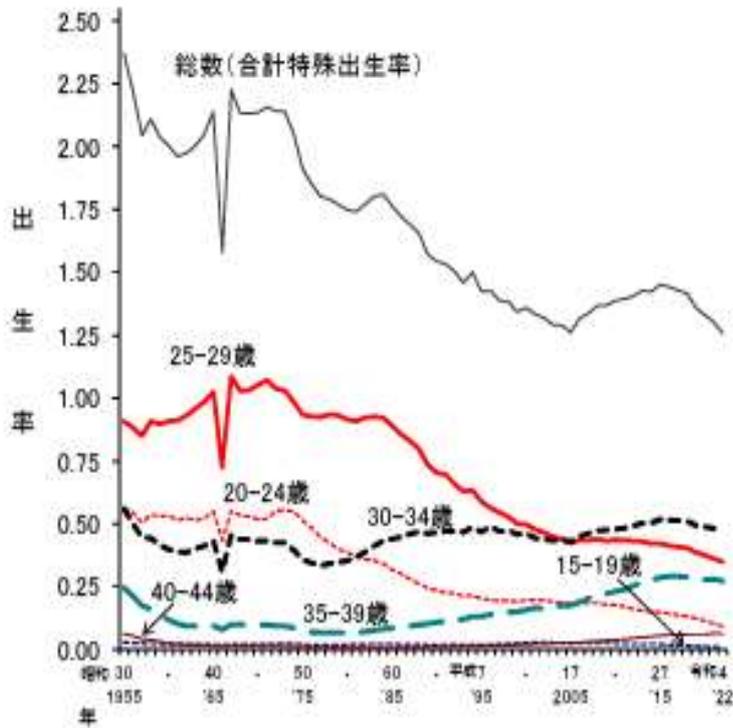


図3 都道府県別にみた合計特殊出生率（令和4年(2022)）

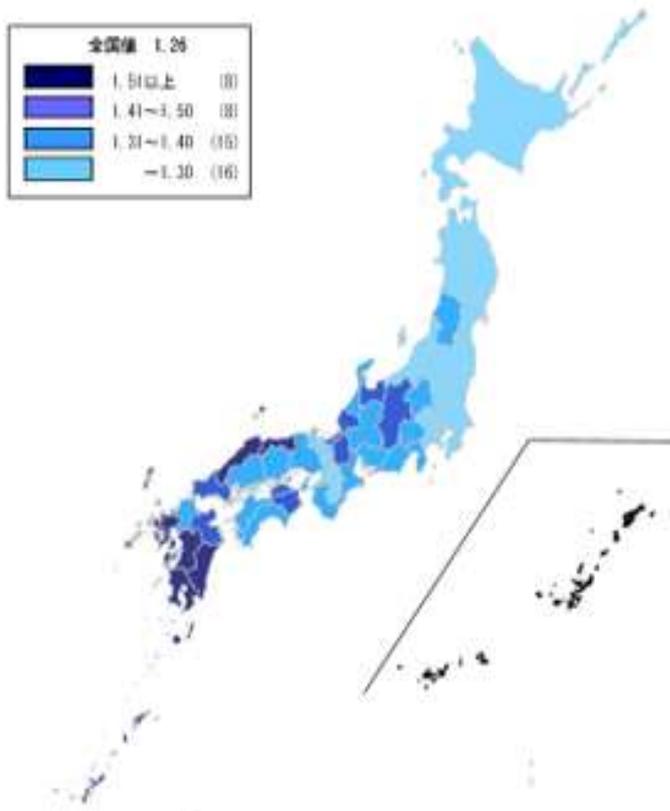


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	令和4年 (2022)	令和3年 (2021)
全国	1.26	1.30
北海道	1.12	1.20
青森県	1.24	1.31
岩手県	1.21	1.30
宮城県	1.09	1.15
秋田県	1.18	1.22
山形県	1.32	1.32
福島県	1.27	1.36
茨城県	1.27	1.30
栃木県	1.24	1.31
群馬県	1.32	1.35
埼玉県	1.17	1.22
千葉県	1.18	1.21
東京都	1.04	1.08
神奈川県	1.17	1.22
新潟県	1.27	1.32
富山県	1.46	1.42
石川県	1.38	1.38
福井県	1.50	1.57
山梨県	1.40	1.43
長野県	1.43	1.44
岐阜県	1.36	1.40
静岡県	1.33	1.36
愛知県	1.35	1.41
三重県	1.40	1.43
滋賀県	1.43	1.46
奈良県	1.18	1.22
和歌山県	1.22	1.27
大阪府	1.31	1.36
兵庫県	1.25	1.30
京都府	1.39	1.43
鳥取県	1.60	1.51
徳島県	1.57	1.62
香川県	1.39	1.45
岡山県	1.40	1.42
広島県	1.47	1.49
徳島県	1.42	1.44
愛媛県	1.45	1.51
高知県	1.39	1.40
福岡県	1.36	1.45
佐賀県	1.33	1.37
熊本県	1.53	1.56
大分県	1.57	1.60
宮崎県	1.52	1.59
鹿児島県	1.49	1.54
沖縄県	1.63	1.64
沖縄県	1.54	1.65
沖縄県	1.70	1.80

注：令和3年の分母に用いた人口は、全国では「人口推計（令和3年10月1日現在）」（総務省統計局）の各都道府県人口、都道府県別では年齢階級別人口人口。